

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

## 2年 ビーバーの 大工事 📖 下8~20

ビーバーの体の構造や知恵のすばらしさを読み取ります。



- **ビーバーの巣作りの様子**について書かれた説明文です。
- ビーバーの行動を、**順序に注意して**読み取ります。
- 1 切り倒した木を、川の中へ運ぶビーバー。
- 2 木の上に、小枝と石と泥を積み上げ、ダム作りをするビーバー。
- 3 ダムで水がせき止められてできた湖の真ん中に、巣を作るビーバー。

## 1年 サラダで げんき 📖 下5~19

- 病気のお母さんのために、**サラダ**を作ってあげるりっちゃんのお話です。
- 誰か、何をサラダに入れたらよいと教えてくれたのかを読み取ります。
- のらねこ……かつおぶし
- 隣の犬……ハム
- すずめ……とうもろこし
- あり……砂糖
- おまわりさんに乗せた馬……にんじん
- 白くま……こんぶ
- アフリカぞう……油と塩と酢をかけて混ぜる。
- りっちゃんのお母さんは、サラダを食べて、たちまち元気にになりました。



## 4年 一つの花 📖 上134~146

- 食べ物も満足に口にできない、戦時中の物語です。
- 幼いわが子(ゆみ子)に対する両親の願いを読み取ります。
- 1 「一つだけ……」という言葉を最初に覚えたゆみ子。
- 2 両親のゆみ子に対する思い。  
一輪のコスモスの花を渡して、お父さんは戦争に行っちゃったんだね。
- 3 父のいない、十年後の母とゆみ子。  
コスモスに囲まれて幸せそう。



## 3年 サーカスのライオン 📖 上130~148

- サーカスのライオンのじんざが、仲良くなった男の子を火事から助け出す物語です。
- 場面ごとに様子や気持ちを読み取ります。
- 1 年をとったライオンのじんざがおりの外に散歩に出る。
- 2 じんざと男の子が出会う。
- 3 男の子が、サーカスのじんざを毎日訪れる。
- 4 男の子を火事から救い、炎となったじんざ。



じんざは、金色のライオンになって、空をかけていったんだよ。

## 6年 模型のまち 📖 126~148

- 放課後の学童クラブでビー玉遊びに夢中になった体験を持つ亮が、転校先の広島で、不思議な夢の体験をする物語です。
- 1 平和公園のある三角州は、帰宅の近道。亮は、広くて木しかない公園だと思っていた。
- 2 真由に、高校の工作クラブの見学に誘われる。そこで作られていたのは、原爆に破壊される前の、人々が生活する三角州のまちの模型だった。
- 3 亮は、模型のまちでビー玉遊びをする夢を見る。……



情景や心情を描いた表現に注意して読んでみよう。

## 5年 注文の多い料理店 📖 124~144

- 生き物の命を大切にしない二人の若い紳士が、生き物に食べられそうになる物語です。
- 料理店の戸に書かれた**注文の意味**を読み取ります。
- 二人は、料理店の戸の言葉を、自分の都合のよいように読み取っていく。
- しだいに料理店の戸の言葉がおかしいと気づく。

宮沢賢治は、自分勝手な人間に対する警告をこめて、この物語を書いています。

注文はすいがん、多いでしようが、どうかいちいちこらえてください。

どなたもとうがお入りください。決してえんよはありません。